

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	財務会計についての発展的な知識及び技能を習得させる	・財務会計の基本概念と会計基準 ・資産負債アプローチと収益費用アプローチ ・会計基準の国際的統合 ・金融商品 ・外貨建取引 ・デリバティブ取引 ・様々な商品売買取引 ・工事契約 ・有形固定資産 ・リース取引	【知識・技能】 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学期	財務会計についての発展的な知識及び技能を習得させる	・研究開発費とソフトウェア ・固定資産の減損 ・社債 ・退職給付会計 ・資産除去債務 ・純資産 ・新株予約権 ・ストック・オプション ・分配可能額 ・税効果会計 ・キャッシュ・フロー計算書	【知識・技能】 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学期	財務会計についての発展的な知識及び技能を習得させる	・企業結合会計 ・連結財務諸表 ・持分法 ・財務諸表分析 ・監査と職業会計人	【知識・技能】 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							70